

Deloitte.

デロイトトーマツ

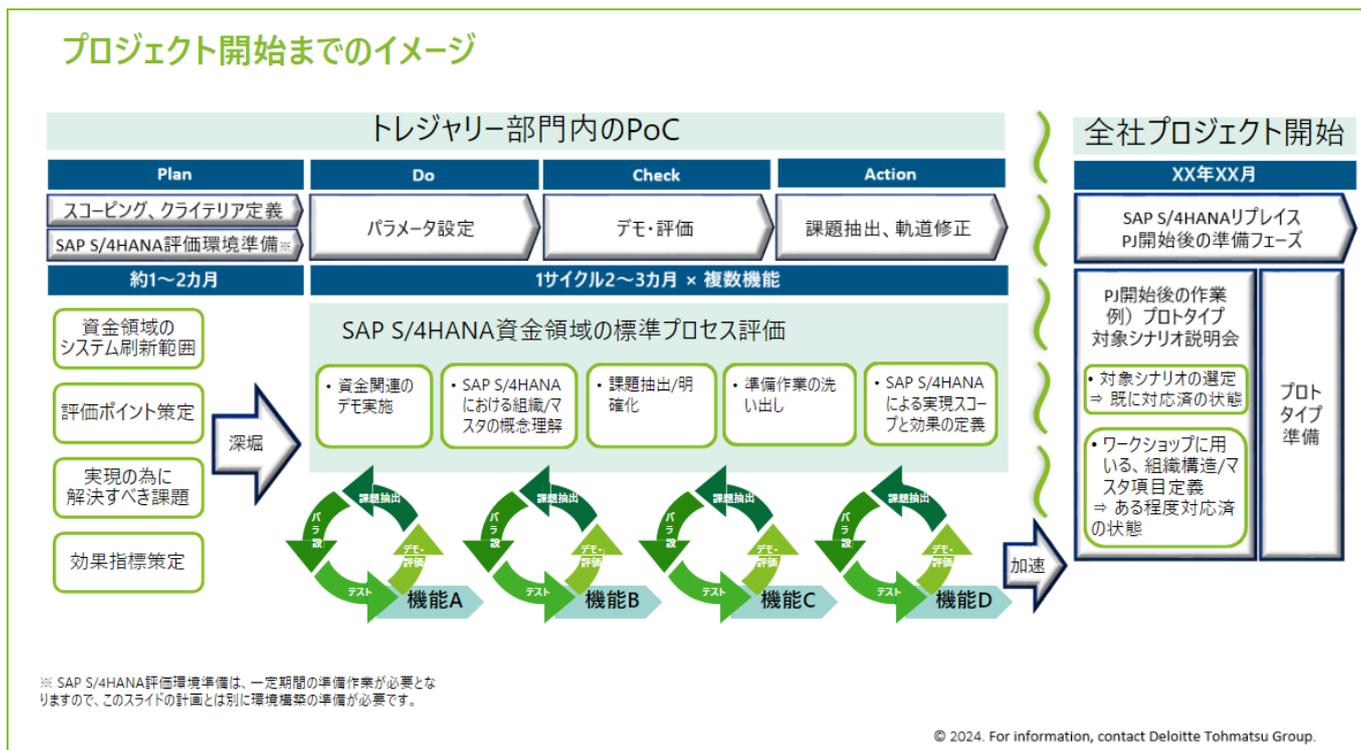


SAP資金モジュール導入テンプレート PoCスターターパック

デロイトトーマツ コンサルティング合同会社
Digital Transformation with SAP

SAP資金モジュール導入 – PoCスターターパックのご紹介

- SAP S/4HANA®への資金モジュール導入をスムーズに。デロイトトーマツ独自のPoCスターターパックでスコープの判断から効果の着眼点識別、ハイレベルな機能検証まで、全プロセスをご支援致します。



SAP資金モジュール導入テンプレート - PoCスターターパック -

SAP S/4HANA以降、格段に機能強化された資金モジュールの導入を検討される際、どの範囲までSAPに業務を取込むかといったスコープ判断は非常に重要となります。このような評価・判断を頂くために、テンプレートをご提供致します。

・PLAN(約1~2カ月)

スコープ、クライテリア定義として、As-Is資金業務を元に、システム化範囲、評価軸を仮置き。As-Is資金業務の課題やSAP資金モジュールによる解決策、効果の着眼点識別などを支援致します。又、並行して、この間に貴社業務シナリオを踏まえた貴社向けPoC評価環境を提供致します。

・Do~Action(1サイクル約2~3カ月×複数機能)

PLANの段階でPoC実施対象とした機能に関して、1サイクル約2~3カ月を目安として、評価を支援致します。この期間に、デモの中で、標準機能やデータの持ち方の理解、導入する際の変革課題の抽出や対策などを整理致します。そして、導入スコープと効果算定の定義までをご支援致します。

資金モジュール導入の成功ポイント

- 本PoCによるプロジェクト開始後の各種リスクを予防 -

資金領域に関しては、ECCなど既存ERPから、SAP S/4HANAへの刷新時に、新規導入されるケースが多々あります。このようなケースの場合、FI/COなど他の業務領域はAs-IsのERP業務も踏襲し、検討を進めることができます。一方、資金モジュールの場合は、SAP S/4HANAから新規導入されるケースが多く、他業務領域と比較すると、標準機能の理解や変革課題の整理や、To-Be検討に時間を要し、遅延が発生、他業務領域への設計上の影響も発生するリスクが発生する傾向も認められます。

プロジェクト開始後、上記のようなリスクを予防する為にも、プロジェクト開始前に事前に可能な範囲での機能検証やハイレベル検討を終わらせておき、プロジェクト開始後、スムーズに、FI/COなどの他領域に足並みを合わせられる状態に持ち上げて置く事が、非常に重要な成功のポイントになると考えます。

想定Output

・デモシナリオ説明資料

PoC実施時に使用したデモシナリオ説明資料を納品します。

・プロセスフロー(To-Be業務フローの元情報)

PoCで定義したプロセスフロー（ハイレベルでの業務フロー）を納品します。プロジェクト開始後、To-Be業務フローのインプットとして利用して頂く想定です。

・パラメータ定義書

PoC実施時のパラメータ設定をパラメータ定義書として作成して納品します。

・マスタ項目定義書

PoC実施時のマスタ類（BPマスタ、勘定コード、取引銀行など）の利用項目の使い方などを記載したマスタ項目定義書（簡易版）を納品します。

・その他

- 導入スコープ／アプローチ

- 変革目標/期待効果

- 費用試算や体制含めたプロジェクト計画

FI/CO導入に合わせて資金を導入するケースの他、既に導入済SAP S/4HANAに後付けで資金を導入するケースなど、各種状況に合わせ、ご支援致します。

SAP資金モジュール導入 – テンプレート一覧

■ デロイトトーマツが持つ以下のテンプレートをご提供可能です。

| No. | テンプレート名 | 説明 |
|-----|--------------|--|
| 1 | 現預金管理 | 資金の見える化を実現するため、銀行からの入出金明細取込に関連するテンプレート 預金残高の確認だけでなく、入出金情報をもとに仕訳生成も可能。 Ex. 全銀フォーマット（固定長、XML）、MT940/942、Camt052,053、Pain001、ISO20022対応 |
| 2 | 資金繰管理 | メモレコードを活用した予測データの投入、メモレコード一括アップロードテンプレート 投入された予測/実績データをSAPキャッシュフローアナライザーで表示するための各種レイアウト/バリエーション定義 |
| 3 | インハウスキャッシュ | 社内の余剰資金を管理し、預金の貸借残高ポジションに応じて、仕訳を制御することを実現したテンプレート 入出金明細情報をもとに、口座の貸借残高ポジションを管理し、グループファイナンスの貸借状況を可視化 |
| 4 | タームローン管理 | 主にグループ会社間で管理する貸付金、借入金を管理するためのテンプレート。ミラーリング機能も実現可能 |
| 5 | 外部調達管理 | 外部からの資金調達を管理するためのテンプレート。金融機関からの借入、社債発行、CP発行などの管理が可能 |
| 6 | 運用管理 | 社内の余剰資金を利用した資産運用を管理するためのテンプレート。定期預金、通知預金、譲渡性預金、CP購入などの管理が可能 |
| 7 | 金利リスク管理 | 金利スワップ、通貨スワップなどで金利リスクを管理する為のテンプレート。ヘッジ対象との紐付け管理も可能 |
| 8 | 有価証券管理 | 株式の現物管理、売買取引を管理するためのテンプレート。それに伴う配当金及び源泉税や売買取引、時価評価、見越/繰延の取引内容や残高情報が財務会計・資金管理モジュールに連携 |
| 9 | 為替予約管理 | 為替予約を管理を実現するためのテンプレート、原則独立処理による予約の登録・実行・差金決済・為替評価用先物レートマスタ登録・為替評価が実施可能 |
| 10 | 保証管理 | 海外子会社が現地の金融機関から資金を調達する際など、海外子会社単体では信用力が十分ではないことなどを理由に親会社が保証を行う場合など、保証業務を管理するためのテンプレート |
| 11 | デポジット管理 | デポジット（預かり側）の管理を実現するためのテンプレート |
| 12 | 極度枠管理 | 極度枠の総枠、利用額、未利用額を把握し、極度内実行明細も管理するためのテンプレート |
| 13 | コミットメントライン管理 | 極度枠と同様の管理を行い、且つコミットメントラインに付随する各種フィーの管理まで行うテンプレート |

■ お問い合わせ先

鈴木大仁： hirohsuzuki@tohatsu.co.jp

阿部利男： toshabe@tohatsu.co.jp

Deloitte.

デロイト トーマツ

デロイト トーマツグループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイト ネットワークのメンバーであるデロイト トーマツ 合同会社ならびにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ リスク アドバイザリー 合同会社、デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャル アドバイザリー 合同会社、デロイト トーマツ 税理士 法人、DT 弁護士 法人およびデロイト トーマツ グループ 合同会社を含む）の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスク アドバイザリー、コンサルティング、ファイナンシャル アドバイザリー、税務、法務等を提供しています。また、国内約30都市に約2万人の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト、www.deloitte.com/jpをご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、デロイト トウシュ トーマツ リミテッド（“DTTL”）、そのグローバル ネットワーク 組織を構成するメンバー フォーム およびそれらの関係法人（総称して“デロイト ネットワーク”）のひとつまたは複数 を指します。DTTL（または“Deloitte Global”）ならびに各メンバー フォーム および関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。DTTL および DTTL の各メンバー フォーム ならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のフォーム または関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。DTTL はクライアントへのサービス提供を行いません。詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。デロイト アジア パシフィック リミテッドはDTTLのメンバーフォームであり、保証有限責任会社です。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーフォームおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィック における100を超える都市（オーストラリア、バンコク、北京、ベンガルール、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、ムンバイ、ニューデリー、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャル アドバイザリー、リスク アドバイザリー、税務・法務などに関連する最先端のサービスを、Fortune Global 500®の約9割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促し、より豊かな経済、公正な社会、持続可能な世界の実現に向けて自ら率先して取り組むことを通じて、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来175年余りの歴史を有し、150を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をパーパス（存在理由）として標榜するデロイトの45万人超の人材の活動の詳細については、www.deloitte.com をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、デロイト トウシュ トーマツ リミテッド（“DTTL”）、そのグローバル ネットワーク 組織を構成するメンバー フォーム およびそれらの関係法人が本資料をもって専門的な助言やサービスを提供するものではありません。皆様の財務または事業に影響を与えるような意思決定または行動をされる前に、適切な専門家にご相談ください。本資料における情報の正確性や完全性に関して、いかなる表明、保証または確約（明示・黙示を問いません）をするものではありません。またDTTL、そのメンバーフォーム、関係法人、社員・職員または代理人のいずれも、本資料に依拠した人に関して直接または間接に発生したいかなる損失および損害に対して責任を負いません。DTTLならびに各メンバーフォームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited

© 2024. For information, contact Deloitte Tohmatsu Group.



IS 669126 / ISO 27001



BCMS 764479 / ISO 22301

IS/BCMSそれぞれの認証範囲はこちらをご覧ください
<http://www.bsigroup.com/clientDirectory>